

問3 東北地方太平洋沖地震により、震源地に近い原発はどうだったのですか。

答3 原子炉は安全に停止して事故には至りませんでした。これまでの地震の経験では、重大な損傷は経験していません。反原発側に不都合な事実はマスコミにふたをされたままです。

すべての原発は地震発生時の地震により自動停止しました。震源地に最も近い東北電力女川原子力発電所では津波の襲来にも拘わらず電源は確保されて安定に停止し事故には至りませんでした。

福島原発は、安全に停止しましたが津波による電源喪失がメルトダウンにつながったのです。

—日本の原発の技術に関連する質問と回答—

常識電車

問3-1 東北地方太平洋沖地震により、震源地に近い原発は安全に停止したのですか。

回答：原発は、一定以上の地震により自動的に制御棒が挿入され原子炉の核分裂は停止します。東京電力福島第一原発も運転中の3基すべてが自動的に停止しました。

問3-2 東電福島第一原発以外では、なぜ大事故にならなかったのですか

回答：福島第一原発と同じタイプの東北電力女川原発、東京電力福島第二原発、原電東海第二原発では、自動停止後もいずれかの非常用電源が作動しました。このため、緊急冷却装置が機能して大事故には至りませんでした。その理由は、過去最大の津波に対する防護対策などがなされていたためです。

志の電車

問 3-3 原子力発電所の安全はどのようにして確保されているのですか。

回答：原発が運転に入る前の「使用前検査」と運転開始後の供用中検査が規則に従って実施されています。今回の新安全基準の適用により、安全対策は格段の向上が図られています。また、過去における事故や災害事例や海外の事例に学ぶことが大切です。日本の原子力発電所の内部は、放射線の管理区域と非管理区域が設けられ、安全確保のために色別に区分され、また、機器設備や通路は整然と整理整頓されています。

ここがポイント

原子力発電所の津波対策

宮城県沖地震など、幾度も津波に見舞われた三陸海岸にある女川原発では、西暦 869 年の貞観地震 (M8.3) の津波遡上高さを参考にその 1m 上に敷地が整備されました。このため原子力発電所は安全に停止し、そこに被災した周辺住民約 400 名が避難して集まっていたのです。原電東海第二原発でも、津波対策として防潮堤のかさ上げ工事がなされていたため大事故になりませんでした。